

7 年発表 「ふせぐ」 自分たちにできること

●この半年間、「防災」について学んだことを出し切って報告しました。天災は、忘れた頃にやってくる。「みなさん、心のどこかで地震は来ないと思いませんか?」「あなたの大切な人は安全ですか?」という言葉にドキッとしました。7年生の発表は自分たちだけのためではなく、能勢ささゆり学園の子どもたち、教職員、保護者、地域の方々、能勢に住むすべての人たちのために防災について発表することができたように感じました。9年生と8年生の先輩たちも重ねて体験してきた防災学習。今年の7年生も深めてくれました。「災害のときに中学生が動きます。」と、実感がこもったセリフも心に響きました。そして、最後の歌「幸せ運べるように」は、成長を感じ、グッときました。

●7年生が生徒と保護者にとったアンケートから「**地震の備えが必要だと思う 73%**」「**防災対策をしている 41%**」という結果が出ています。さらに防災意識を高めていくには、7年生のとりくみを広げ、町や区などの防災活動などにつなげていくことが肝心です。缶詰のオイルがランプの代用となること、ダンボールが保温と防音を活かした布団の代用になること、広告チラシとランプで食器の代用になること、避難所シミュレーションでわかったこと、災害用伝言ダイヤル171 安否の伝言、録音など、災害時に役立つ情報が満載でした。校内安全点検では食器棚の扉の固定や棚と天井の突っ張り棒固定、避難所レクでは準備がなくてもみんなで楽しめるゲーム「ハンカチおとし」「だるまさんがころんだ」「フルーツバスケット」など、今後に備えた情報をたくさん提供してくれました。

●確かめよう!用意しよう!家族で話し合おう!

- ・防災リュック・・・懐中電灯、ばんそうこう、防災用バケツ、アルミブランケット、アルミホイル、携帯トレイ、ティッシュ、ライター、サバイバルナイフ、レジャーコート、軍手、マスク、タオル、ポリ袋、プラスチックのコップ
- ・ハザードマップ・・・自分の避難所はどこ?保育所、シアター、保健センター? おうちで話し合おう!
- ・災害備蓄用食、ローリングストック、在庫確認、家具固定、簡易トイレ、減災・・・



9 年発表 「ひめゆりのことば」～沖縄戦のはなし～



●沖縄戦で日米の戦死者は20万以上。その6割にあたる12万人は沖縄県民でした。沖縄県民の4人に1人の命が奪われました。日本軍は兵力不足を補うために、中等学校や師範学校などの10代の生徒まで、戦場に動員しました。「沖縄師範学校女子部」と「沖縄県立第一高等女学校」生徒222人・教師18人、合計240人、いわゆる『ひめゆり学徒隊』が看護要員として動員され、そのうち136人が亡くなりました。そのうち、86%の117人が6月18日の解散命令後に亡くなり、または行方不明になりました。

●沖縄に修学旅行に行ったとき、9年生はひめゆり資料館の証言の部屋で真剣に証言者の声に耳を傾け、証言を目で追い、同年代のひめゆり学徒隊のことを体いっぱい受け止めて、向き合っていました。9年生の劇を見て、このことを思い出しました。最後のセリフ「**本当に戦争はおわったんですか?**」。この言葉を重く受け止めたいと思います。

●9年生が下級生に伝えたかったことは、何でしょう。戦争がない、平和な世の中にしていくために、この沖縄で犠牲になった方々のためにも、「社会を見つめ、自分をみつめ、しっかり考え、おかしいことはおかしいと勇気をもって発言し、行動し、生きてほしい」「戦争は最大の人権侵害である」そんなメッセージが込められていたと思います。

●この9年間、ささゆり学園で多くのことを学んできました。次のステージでも過去の歴史を学び、未来に向けて、たくましく生きてほしいと願います。9年生、感動をありがとう。尊いメッセージ、ありがとう。下級生に響きました。